

令和4年度 第3回 図書館そだち会議

日時：令和5年1月27日(金) 午後2時～(2時間程度)

場所：湯原図書館

一般参加者：2人、振興局・図書館：5人

1.開会（福井館長）

本と直結しなくても、何か図書館に来てもらえるきっかけを作ろうと少しずつ変わってきている。小・中学校とも連携しながら町の方ともつながって様々な事業が出来るようになった。そして、やっとの事で、中央で開催した「もちより図書館」を湯原でも実施出来た。

今日はこの1年を振り返り、中央図書館での話、真庭で起こっていること、「市長と話そう」の報告など、湯原図書館だけではなく、湯原の方が子どもから大人まで、何気なく図書館に来るためにはどうしたらいいかということを経験に話したい。そして、次年度に引き継げるようにしたい。

2.自己紹介

3.「市長と話そう」共有(図書館司書)

参加：市長・中央図書館長・上杉参事・地区館の司書

1時間ほど開催

- ・館長が「図書館でどういうことをしているのか」動画で紹介
- ・各図書館司書がどういうことに力を入れているか紹介
- ・市長「中央図書館だけあればいいという訳ではなく、それぞれの地区で違いを活かしながら図書館を運営して欲しい」
- ・観光客の人にも刺激があるといい
- ・高齢になっても本を手にとれるようにして欲しい
- ・学校図書館ともつながって、もっと市内で本が楽しめることを期待

4.前回までの振り返り

- ・今年度実施したこと
 - ①七夕「帯姫と彦帯」
 - ②もちより図書館

- ・一箱図書館や路上遊び、マルシェ、七輪
 - ・いろんな世代の人が参加 楽器の演奏をする人もいた
 - ・子どもたちがたくさん遊んでいた
 - ・窓ガラスの絵が素敵だった→図書館でも実施し、人気だった
 - ・また開催するなら、動線を考える。一箱にも人が流れるように
- 【添付資料】①②の写真

4.図書館でやってみたいこと座談会

- ・来年度の計画
- ・もちより図書館
来年度は「プチ」でいい。労力をあまり割かないように。
七輪の数を減らし、子どもたちが絵を描いたり遊んだりして、大人の方は図書館に入ってもらおう。
早い時期(春頃)に開催したい。
- ・七夕
早めにとりかかって、短冊をたくさん書いてもらう。
- ☆その他
- ・帯を使って、みんながWSで作れるようなもの(夏休みごろ?子ども向け?)
- ・はんざき絵本のWS
- ・図書館を使って、手芸などのサークル活動を図書館でもいいのでは
- ・学校が臨時休校になった時、親が子どもを見ることが出来ない場合、預かる訳ではないが、親御さんが仕事が終わるまで図書館で過ごせるようにしてもいいのでは
- ・イベントや、文化情報がわかりやくなるように工夫する
→図書館HPを改良中
- ・映画の上映会
→名称:「独占シアター」「貸し切りシアター」
→ホールで開催
→第○金曜日など曜日を決めて開催する
- ・将棋の大会
- ・餅つき
- ・ふれセンでマルシェ開催時に、図書館テラスを開放して飲食スペースを設ける
- ・県立図書館のコーナーを、市内図書館の本のコーナーに替える

県立図書館分は、テーマ展示のみにする

- ★本を読む・貸し出すことよりも、図書館に来てもらうことが大切
- ★人(そだち会議メンバー)を増やしていきたい
- ★湯原で一箱図書館を開ける方が増えて欲しい

5.閉会

令和5年度 年間スケジュール（案）

4月	・第1回図書館そだち会議開催
5月	・プチもちより図書館開催
6月	・七夕イベント開催準備～下旬スタート
7月	・七夕イベント開催
8月	・夏の映画上映会（ふれセンホール） ・怪談・おばけにちなんだイベント
9月	
10月	
11月	・第2回図書館そだち会議開催（10月もしくは11月 新年に向けて）
12月	・冬の映画上映会（ふれセンホール）
1月	・新春イベント開催 「〇〇大会」 （もちつき、カルタ、オセロ etc.）
2月	・第3回図書館そだち会議開催（2月もしくは3月 次年度に向けて）
3月	